太田市社会福祉協議会
広報紙
つながる通信
Vol.336
発行日
2026年10月22日

住み慣れた地域で、いつまでも元気に暮らしていくためには、地域の人々と顔の見える関係を築き、お互いに支え合うことが大切です。人と人との「つながりのある地域」を目指して、地域にある自然な支え合いや交流を「地域のお宝」としてご紹介しています。

第二層協議体「ささえあい生品」では生品地区の地域づくりについて話し合っています。その中で、高齢者と子どもたちが一緒に参加できる活動について協議しました。その取り組みの一つとして、協議体委員の藤倉民生委員が**いきいきサロン**に**育成会**の子どもたちを招き、交流する機会を設けました。

取材先

生品地区
反町　多世代交流会

交流会は令和8年8月2日（日）区長会、育成会、民生児童委員の主催により反町集会所で開催されました。

藤倉さんが反町薬師様についての紙芝居や昔話を通して地域の歴史や文化を子どもたちに伝えました。

その後は参加者全員でスカットボールを楽しみました。子どもから高齢者まで楽しめるスカットボールを一緒に行うことで、自然と会話や応援が生まれ、世代を超えた交流につながりました。







育成会会長　岡田浩之さん

昔に比べ、おじいちゃん・おばあちゃん世代と子どもたちが交流する機会は減っていますが、今回このような機会が持てたことを嬉しく思います。子どもたちに地域のことを伝える良い機会になりました。参加者の皆さんにとって貴重な交流の場になったと思います。





地域のお宝発見　～太田市生活支援体制整備事業～

地域の方（3名）から昔話を聞く場面「昔はね、夏休みに薬師様でおばけまつり（肝試し）をした。」「堀ではザリガニや亀を釣って楽しんだよ。」「爪楊枝で焼きそばを食べながら紙芝居を見たよ。」など、昔話を子どもたちは興味を持って聞いていました。



参加者にお話を伺いました♪

スイカを食べながら交流



いなりや（反町にあった商店）の娘です♪



面白かった
かほちゃん

めっちゃ楽しかった
色んな人と交流できた
みことちゃん

楽しかった
りんかちゃん

スカットボール
楽しめた
あんちゃん



楽しかったから
また来たい
うたちゃん

スカットボール
は初めてやって
難しかったけど
楽しかった
りんちゃん



楽しかった
くるみちゃん

ボールを拾う
お手伝いをしたよ
つむぎちゃん

主催 民生児童委員　藤倉 八江子さん【反町交流会を開催して】これまで、地域の高齢者と子ども達が交流する機会は、ほとんどありませんでした。さらにコロナ禍以降、人と人との交流や行事が減り、地域で顔を合わせる機会が少なくなりました。 そうした中で「地域の子ども達と高齢者の方々が笑顔で過ごせる機会を作りたい」「反町薬師様を伝承していきたい」という思いから育成会やいきいきサロンへ声掛けを行い、世代間交流の開催に至りました。紙芝居・スカットボールを通して、子ども達は、地域の方々から様々な事を学び、高齢者の方々も子ども達から元気や笑顔をもらう事ができました。これを機会に地域の中で世代を超えた繋がりが少しずつ広がっていく事を願っています。

☆チェックポイント☆

今回の多世代交流会を通して、世代を超えて交流することの大切さを改めて感じました。交流を通して、お互いに楽しみながら世代間の理解を深めることは、高齢者の生きがいや子どもたちの思いやりを育むことにもつながります。

〈お問合せ〉太田市社会福祉協議会　地域福祉係
住所：太田市飯塚町1549　電話：0276-46-6208

つながる通信
バックナンバーは
こちら！